

〈受賞者の声〉

令和元年度 論文賞

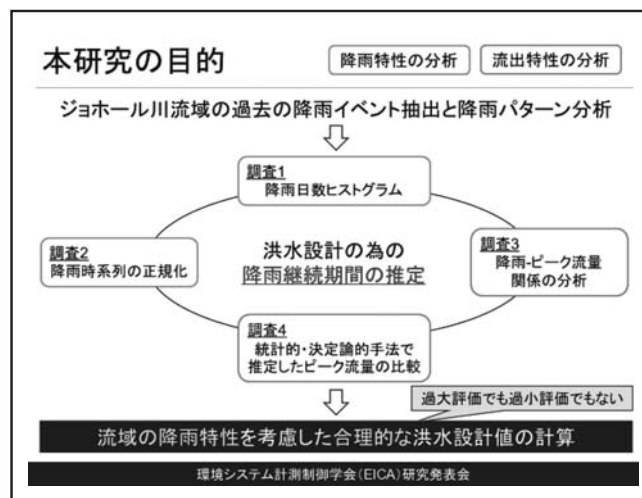
立命館大学理工学部 矢澤 大志

この度は環境システム計測制御学会（EICA）の令和元年度論文賞を頂戴し大変光栄に存じます。評価をしてくださいました学会の先生方にはこの場をお借りして感謝申し上げます。本研究は水文モデルを活用したマレーシアの河川流域の洪水管理がテーマとなっていますが、その裏には幾度も現地調査や打ち合わせがあり、共著者の先生方や現地研究者の皆様にご多大なるご支援を賜りました。心より御礼申し上げます。



現在私は立命館大学理工学部環境都市工学科の教員として研究（指導）、授業等に携わっています。未熟な私にとっては試行錯誤の日々ではありますが、周りの先生方や学生から多くのことを学んでいます。また今の情勢を「コロナのせいで…」と、自身の成長を止める理由にしてはならないと感じ、東南アジアを主な研究フィールドとしてきた私自身も一度足元（国内）を見つめる機会だと捉えています。現在は国内外の様々な洪水・濁水事例やシミュレーションを基に、社会水文学的観点から環境問題と人々の心理・行動等も分析しており、いずれは“日本発”の“アジア型”流域管理構築へ貢献したいと考えています。

元号が令和となりその元年度の賞を平成元年生まれの私が頂けたことは、嬉しい反面、大変身の引き締まる思いです。今後とも学会の皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



本研究の目的と内容：第31回環境システム計測制御学会研究発表会にて発表（令和元年11月）



ジョホール川流域調査



ジョホール川流域のプランテーションにおける浸水